

# 令和5年度 学級経営計画

杉並区立井草中学校 特別支援学 i 組

3年 i 組 担任 岡村 恵理香

**1 生徒数** 男子 3名 女子 4名 計 7名

## 2 学級目標 「後輩の手本となる行動を 7人でセブンスマイル 3-i」

最上級生としての自覚をもち、後輩の手本になれるクラスを目指したいという思いと、中学校最後の学年として7人全員で「スマイル」を絶やさず楽しく過ごしたいという思いが込められた学級目標となった。

## 3 学級の実態

### (1) 健康面

- ・ 服薬が必要な生徒：1名（学校では服薬なし）
- ・ 食物アレルギーのある生徒：なし
- ・ 眼振のある生徒が1名。視力への影響はなし。

### (2) 行動面

- ・ 遅刻や欠席はほとんどなく、生徒の出席率は良好。
- ・ 学校生活のきまりも守ろうとする姿勢が見られる。
- ・ おおむね、教員の話聞いて指示通りに動くことができる。
- ・ 友達の行動が気になってしまい、自分のことに集中して取り組めない生徒がいる。

### (3) 学習面

- ・ 真面目に学習に取り組む生徒がほとんどである。
- ・ 毎日の日記書きを意欲的にすすめることが課題となっている生徒が数名いる。
- ・ 学力や生活年齢、精神年齢に大きなばらつきがあり、学級全体での授業では授業内容の工夫や生徒への支援が必要である。

### (4) その他

- ・ 愛の手帳取得済みの生徒：3名
- ・ 愛の手帳未取得の生徒：2名
- ・ 愛の手帳が発行されなかった生徒：2名

## 4 学級経営の基本方針

### (1) 健康安全面

- ・ 身の回りの整理整頓を日頃から意識し、清潔な環境を維持できるようにする。
- ・ 作業療法士と連携し、身体面での機能向上、姿勢の改善を図る。

### (2) 生活指導面

- ・ 自分の課題を理解し、認め、改善しようとする気持ちを持ちながら学校生活をおくる。
- ・ 日頃から時間を意識し、授業と休み時間のけじめを大切にする。
- ・ 集団生活を意識し、最上級生として、下級生に声かけをしたり手助けをしたりする。

### (3) 学習指導面

- ・ 「〇〇ができるようになる」等、具体的な目標を決めて、意欲的に取り組む。
- ・ 自信をつけるために成功体験や認められる経験を重ね、自分のできることに気付く。
- ・ 将来を見通して、進学先や、自分のやりたいことについて考える。

## 5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

### (1) 健康安全面

- ・自分で整理整頓を意識できるように、毎週ロッカーや机を整理する時間を設ける。
- ・作業療法士からの引き継ぎを、学級の生活に生かす。姿勢を意識できる声かけをする。

### (2) 生活指導面

- ・自分の課題について、授業内や個別の面談で伝える。認めて直そうと思える声かけをし、できたことはその都度ほめ、定着を図る。
- ・チャイム着席を徹底させ、自分で時計を見る習慣をつけさせる。
- ・困っていたり集団行動の流れに乗れていなかったりする下級生を見つけたら、助けようとする気持ちがもてるよう「最上級生としてのよりよい姿」について折にふれて伝えていく。

### (3) 学習指導面

- ・「〇〇が分からない」と気づかせ、分かるように学ぼうとする授業の流れをつくる。
- ・小さなことであっても、頑張って取り組む姿が見られた時や、できなかったことができるようになった時には、その都度ほめて自信をつけさせる。
- ・進路指導を通して、自分の将来について考えようとする意識をもたせる。進学先や職業に関する調べ学習を行い、自分のやりたいことについて考える機会をつくる。